

北方領土返還要求キャラバン隊特別派遣事業 実施要領

1. 趣 旨

令和4年2月のロシアによるウクライナ侵攻以降、長年積み重ねられてきた平和条約締結交渉が中断され、さらに、30年続けられてきた北方四島交流事業や自由訪問がロシア政府より停止されるなど、日露関係は極めて厳しい状況が続いている。

このような厳しい状況を踏まえ、原点にかえり、北方領土返還要求運動原点の地「根室市」から、元島民をはじめ高校生等の後継者をキャラバン隊として北陸圏へ派遣し、各県庁や県民会議への表敬のほか、啓発資材の配布、中学校での交流などの特別啓発を通じて、元島民から後継者までの返還要求運動にかける熱意を強く訴え、国民世論のより一層の喚起高揚を図ることを目的として実施する。

2. 啓発内容

①北陸圏の各県庁を訪問し、副知事等、県民会議会長等へ表敬

（北陸圏：石川県庁、富山県庁）

②姉妹都市黒部市を訪問し、市長へ表敬

③北陸圏の施設等での啓発資材配布等による啓発

（金沢駅前東口付近、富山駅構内）

④北陸圏の学校との交流

（石川県立金沢錦丘中学校、黒部市立清明中学校、黒部市立明峰中学校）

3. 期 間

令和7年11月5日（水）～8日（土） ※移動日を含め3泊4日の行程

4. 訪問先

1日目：移動（根室市⇒富山市⇒金沢市）

（①啓発：金沢駅前東口、②学校交流：石川県立金沢錦丘中学校）

2日目：石川県金沢市 （①表敬：石川県庁）

：富山県富山市 （①表敬：富山県庁、②啓発：富山駅構内）

3日目：富山県黒部市

（①表敬：黒部市、②学校交流：黒部市立清明中学校、黒部市立明峰中学校）

4日目：移動 （黒部市⇒富山市⇒根室市）

5. キャラバン隊員

理事者等（市長、議長、随員） 3名

元島民、後継者及び随行者 8名

北海道根室高等学校北方領土根室研究会（生徒・引率） 5名

事務局（市北方領土対策課） 3名

計 19名